

## 江戸川区

### 1.令和2年度 江戸川区小学校教育研究会 理科部 研究主題

問題解決の活動を通して、資質・能力を育成する理科学習  
～理科の見方・考え方を働かせて～

### 2.研究について

#### (1) 研究の目的

- ①理科の教科における資質・能力の具体を明らかにする.
- ②児童が学習において「見方・考え方」を自在に働かせる授業の工夫を明らかにする

#### (2) 研究の方法

##### ①理科の教科における資質・能力の具体を明らかにするための方法

理科の教科における資質・能力が習得、育成、涵養された先に、子供のどのような姿が見られるかを想定する。資質・能力から子供の具体的な姿を想定する場合には、学年・学級の児童の実態を踏まえつつ、「学習指導要領解説 理科編p17-19」, 「学習指導要領解説 総則 第3章等」, 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 小学校理科」 「各教科書会社から示されている評価資料」などを参考にする。

また、目標である資質・能力と評価規準は整合性をもたせる必要があるため、指導案上では単元評価規準とともに、ルーブリック評価を作成する。主に各教科書会社から示されている評価資料を参考に作成し、A基準児童、B基準児童の妥当性を検討することが考えられる。

協議会では、分科会が想定していた、資質・能力が習得、育成、涵養された児童の具体的な姿を具体例（ノートの写真、授業中の様子、発した言葉等）で提案し、協議する。

##### ②児童が学習において「見方・考え方」を自在に働かせる授業の工夫を明らかにするための方法

事前研究では、教材研究（教材観、児童観、教材や発問の検討等）を通して、授業の工夫を検討する。単元指導計画には、想定される児童の反応として明記する。研究授業後は、児童が「見方・考え方」を自在に働かせている場面で、どのような授業の工夫があったのかを、授業の記録を見直したり、逐語記録を分析をしたりして、事後研究会で検討し研究のまとめをする。

### 3.研究の日程

開催日	場所	内容（予定）
10月7日	清新第一小学校	研究授業① 6年「てこの規則性」
11月11日	南篠崎小学校	研究授業② 5年「振り子の運動」
1月20日	臨海小学校	研究授業③ 3年「音の性質」

